KAIGEN News Release

2026年11月11日

カイゲンファーマ株式会社

医薬品供給リスク管理システム「Resilire（レジリア）」導入のお知らせ

カイゲンファーマ株式会社（以下「当社」）は、株式会社Resilire（本社：東京都港区、代表取締役CEO：津田 裕大）が開発・提供する医薬品供給リスク管理クラウドサービス「Resilire（レジリア）」を導入したことをお知らせします。

当社は、1924年の創業以来、かぜ薬「改源」をはじめとする製品を通じて、人々の健康を支えてきました。2013年には、株式会社カイゲン、共成製薬株式会社、堺化学工業株式会社の医薬事業部門が統合し、現在のカイゲンファーマ株式会社が発足しました。

医薬品を安定して供給し続けるため、当社では改正薬機法を踏まえた供給体制の整備と、供給リスク管理の高度化に取り組んでいます。関係部門と連携し、平時からのリスクの特定・評価や、供給に支障が生じた際の迅速な判断・対応を可能にする体制づくりを進めています。

こうした取り組みの基盤として重要なのが、部門をまたぐサプライチェーン情報の管理です。原材料や製造所などに関する情報を、供給に関する意思決定に活用できる状態で管理することが求められています。

今回の「Resilire」の導入により、関係部門が持つサプライチェーン情報を集約し、平時のリスクの特定・評価や、有事の影響把握の迅速化につなげる情報管理基盤の整備を進めます。当社は、こうした取り組みを通じて医薬品の安定供給体制を一層強化してまいります。

■ 「Resilire」について

「Resilire」は、サプライチェーン情報の一元管理・可視化から、供給リスクの検知、影響把握までを通じて、医薬品の安定供給を支援するクラウドサービスです。

原材料・製品・サプライヤー・製造所などのつながりを可視化し、平時のリスク評価やリスク低減活動を支援します。また、製造所・物流拠点のマップ表示、リスク情報の通知、サプライヤーへの影響調査などを通じて、有事の影響把握と初動対応を支援します。

詳しくはこちらをご覧ください：https://www.resilire.jp/pharmaceutical